



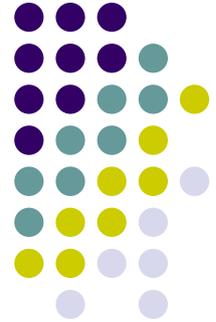
buildingSMART®
International Alliance for Interoperability



第2回IFC検定2015年度報告と 2016年度予定

2016年6月14日

一般社団法人 IAI日本
IFC検定委員会 委員長
足達嘉信



内容

- IFC検定2015概要
- IFC検定2015結果報告
- IFC検定2016への展望





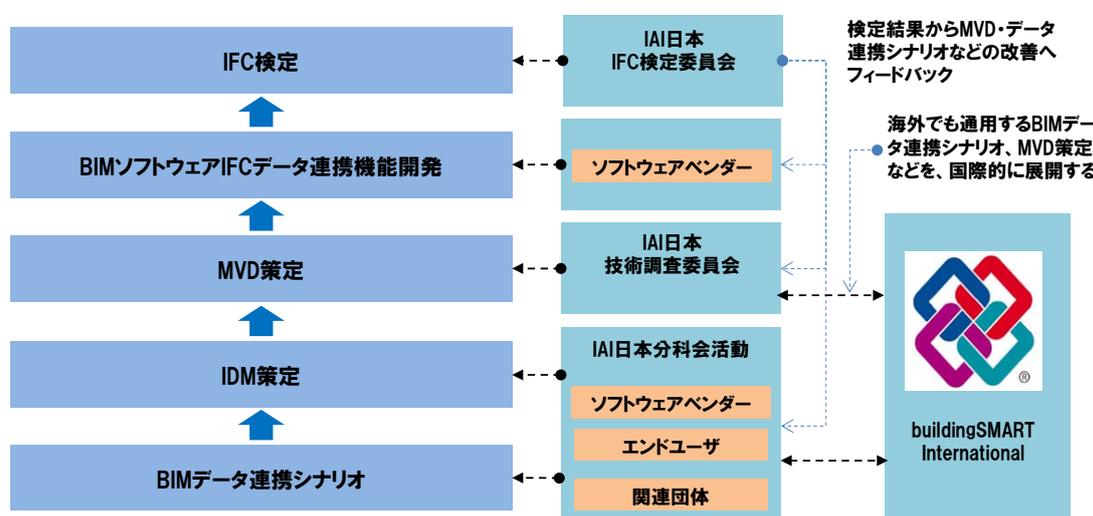
IFC検定2015概要

IFC検定について

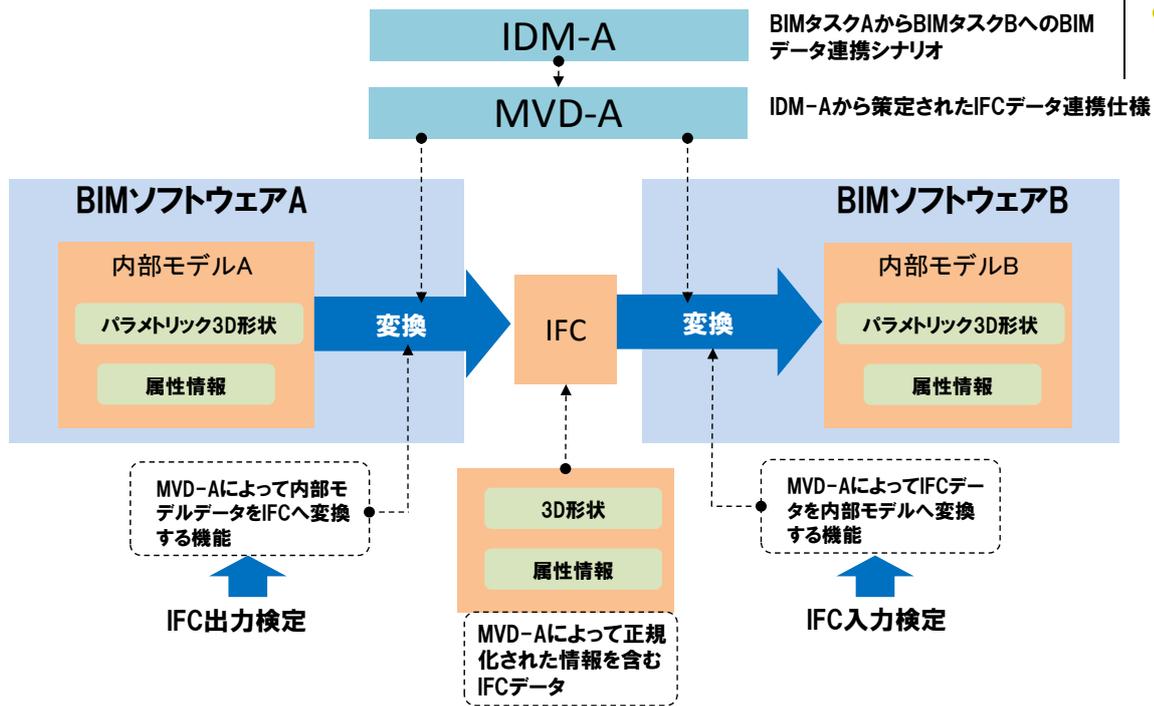


● 目的:

- IFCデータ連携の品質向上と国内の実務におけるIFC普及を推進するために、IFCデータ連携の技術的仕様を明文化し、ソフトウェアの利用者及び開発者両者がIFCデータ連携の内容を客観的に確認できる仕組みを目指す。



buildingSMARTが策定するIFC・IDM・MVD



IDM・MVDによるIFCデータ連携の仕組み

IFC検定2015結果報告



2015年度 IFC検定 最終結果



ソフトウェア名称	会社名	検定MVD名称	検定区分	合格
仕上数量積算システム FKS/FN	協栄産業株式会社	仕上積算モデルビュー定義2015	入力:解析系	合格
NCS/HELIOS(ヘリオス)	株式会社日積サーベイ	仕上積算モデルビュー定義2015	入力:解析系	合格
ArchiCAD	グラフィソフトジャパン株式会社	仕上積算モデルビュー定義2015	出力	合格
建築設備専用CAD Rebro(レプロ)	株式会社NYKシステムズ	設備モデルビュー定義2015	出力	合格
建築設備専用CAD Rebro(レプロ)	株式会社NYKシステムズ	設備モデルビュー定義2015	入力:CAD系	合格
BIM/CIM Ark	GSA株式会社	建築確認モデルビュー定義2015	入力:ビューワ系	合格
TP-PLANNER	株式会社コミュニケーションシステム	建築確認モデルビュー定義2015	出力	合格
Vectorworks Architect 2016 with Renderworks	エーアンドエー株式会社	仕上積算モデルビュー定義2015	出力	合格

11

一般社団法人 IAI日本 buildingSMART Japan, IFC検定委員会 2016

入力検定区分



- **出力**
 - MVDコンセプトの範囲内でIFCデータを出力しているか
- **入力1:ビューワ系**
 - 目的:3D幾何形状・属性情報の伝達内容を確認。
 - 例:IFCビューワ、IFCを参照モデルとしてインポートするCAD
- **入力2:CAD系**
 - 目的:検定IFCデータを入力したソフトウェア上でIFCオブジェクトが、正常に編集可能なBIMオブジェクトへ変換されているかを確認。
 - 例:設備CADから設備CAD
- **入力3:解析系**
 - 目的:解析計算、数量計算などをおこなうソフトウェアが、性能定義・解析機能定義などの内容に沿って処理されているかどうかを確認。
 - 例:積算系ソフト・集団規定チェックソフト

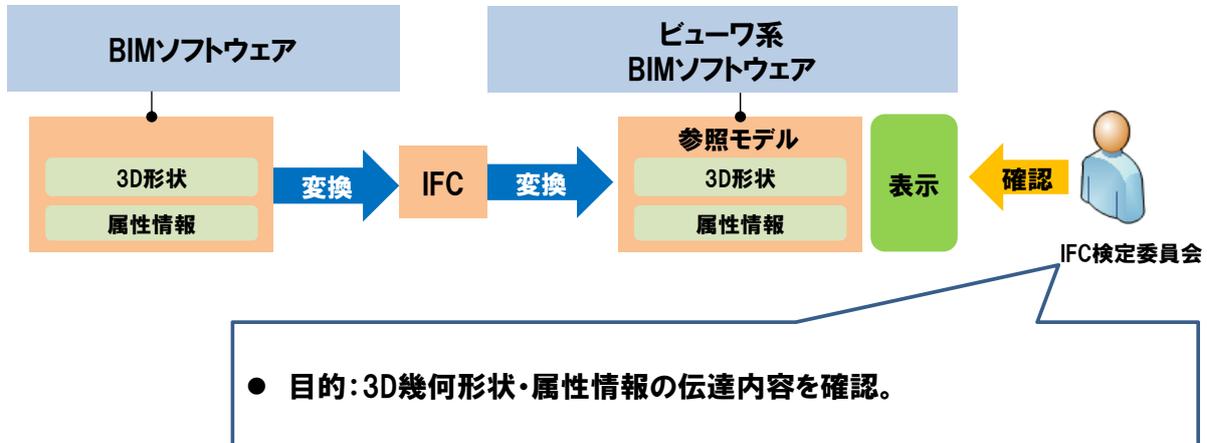
12

一般社団法人 IAI日本 buildingSMART Japan, IFC検定委員会 2016

IFC入力検定における検定区分について

(1) 入力:ビューワ系

- ビューワ系のBIMデータ連携の特徴:
IFCで定義されている幾何形状・属性情報を、編集可能ではない参照モデルとしてそのまま変換し表示することを目的としたBIMデータ連携。



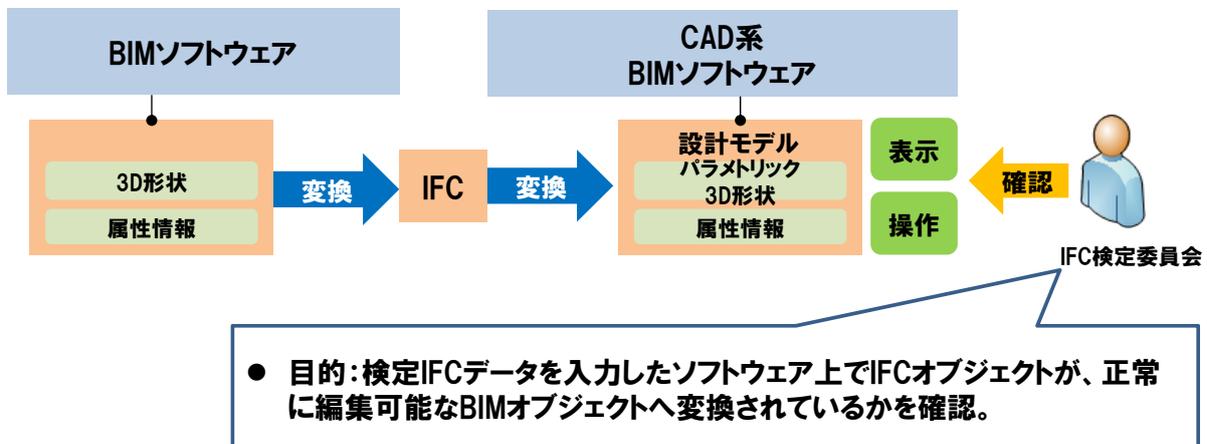
13

一般社団法人 IAI日本 buildingSMART Japan, IFC検定委員会 2016

IFC入力検定における検定区分について

(2) 入力:CAD系

- CAD系のBIMデータ連携の特徴:
IFCで定義されているパラメトリック3D幾何形状・属性情報を、編集可能な設計モデルとして変換する。変換後は、オブジェクト部品としての操作が可能。例:壁、窓、ダクトなどオブジェクトタイプごとの編集が可能な状態となる。



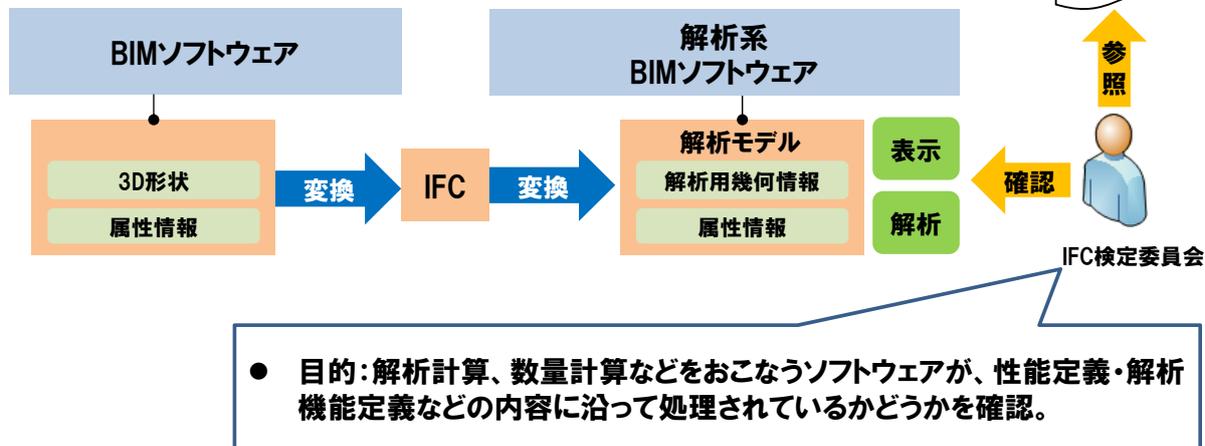
14

一般社団法人 IAI日本 buildingSMART Japan, IFC検定委員会 2016

IFC入力検定における検定区分について

(3) 入力:解析系

- CAD系のBIMデータ連携の特徴:
IFCで定義されているパラメトリック3D幾何形状・属性情報を、解析処理に必要な解析モデルへ変換する。解析処理に応じて、幾何形状の単純化、属性値の変換などモデルデータ構造の変更を伴う。



IFC出力検定の概要

